

目 次

I. 総括研究報告	
OECDのSHA手法に基づく保健医療支出の政府統計化に向けた推計方法の改善のための研究	7
竹沢純子	
II. 分担研究報告	
1. SHA手法に基づく保健医療支出推計の検討	15
— HC機能別分類の推計方法案及び暫定試算結果 —	
竹沢純子・河村絢也・横山真紀・木村剛・矢野正枝	
(資料1-1) HC.1 (治療)、HC.2 (リハビリ)、HC.4 (補助的サービス) 及びHC.5 (医療財)	
の推計手法に関する検討 河村絢也	
(資料1-2) HC.3 (長期ケア) の推計方法に関する検討 竹沢純子	
(資料1-3) HC.6 (予防) の計上項目一覧 横山真紀	
(資料1-4) HC.6 (予防) のうち妊婦健診自費の推計手法に関する検討 横山真紀	
2. 医療介護関連の私的支出にかかる一推計—在宅高齢者が使用する大人用おむつの事例— 泉田信行・今川冬馬	83
(資料2-1) 眼鏡及び他の視覚製品、及び補装具の推計手法研究 今川冬馬	
3. HC.6 予防ケアにおける学校保健関連支出の推計手法に関する検討	105
新杉知沙	
(資料3-1) HC.6 予防ケアにおける学校保健関連支出の推計手法に関する検討 新杉知沙	
4. 資本形成の推計方法に関する検討	123
井伊雅子	
5. SHA作成体制の国際比較と日本における政府統計化への示唆	129
—オーストラリア・韓国・フランスの事例から	
横山真紀・竹沢純子・河村絢也・木村剛	
(資料5-1) SHA作成体制の国際比較と日本における政府統計化への示唆 横山真紀	
(資料5-2) オーストラリアにおけるSHA作成体制 河村絢也	
(資料5-3) フランスにおけるSHA作成体制 横山真紀	
(資料5-4) 韓国におけるSHA作成体制 横山真紀	
6. 台湾「国民医療費統計」(国民医療保健支出)について	183
小島克久	
(資料6-1) 台湾「国民医療費統計」(国民医療保健支出)について 小島克久	
III. 研究報告	205
日本の保健医療支出(SHA)開発の歴史について	
満武巨裕	
(参考資料) 日本におけるSHA開発の歴史について 満武巨裕	
(付録) SHA2011 推計仕様書 満武巨裕	
IV. 研究会等開催記録	307
1. SHA推計方法に関する研究会(2025年6月17日)	
2. 国立社会保障・人口問題研究所 韓国保健社会研究院(KIHASA)	
年次合同フォーラム(2025年12月19日)	
3. OECD招聘ワークショップ(2026年2月4-6日)	
V. 研究成果の刊行に関する一覧表	315

研究組織

研究代表者

竹沢 純子 国立社会保障・人口問題研究所 企画部 室長

研究分担者

木村 剛 国立社会保障・人口問題研究所 企画部 部長(令和7年7月以降)
矢野 正枝 国立社会保障・人口問題研究所 企画部 部長(令和7年7月まで)
横山 真紀 同 企画部 主任研究官
河村 絢也 同 企画部 研究員
泉田 信行 同 社会保障応用分析研究部 部長
新杉 知沙 同 社会保障応用分析研究部 研究員
井伊 雅子 一橋大学大学院 経済学研究科 教授
小島 克久 城西国際大学 福祉総合学部 教授

研究協力者

林 玲子 国立社会保障・人口問題研究所 所長
岩本 康志 東京大学大学院 経済学研究科 教授
シン・ジョンウ 韓国 保健社会研究院 保健政策部 シニアリサーチフェロー
西沢 和彦 日本総合研究所 理事
成瀬 道紀 日本総合研究所 調査部 主任研究員
今川 冬馬 一橋大学大学院 経済学研究科 修士課程 国立社会保障・人口問題研究所 研究補佐員

研究協力機関

厚生労働省 保険局調査課 国際課 等
一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
経済協力開発機構(OECD) 雇用労働社会局 医療課
韓国 保健社会研究院(KIHASA)
オーストラリア保健福祉研究所(AIHW)
フランス保健省 調査・研究・評価・統計局(DREES)